

フォースタートアップス株式会社(7089)
2021年3月期通期決算説明会 質疑応答サマリー

1) 22年3月期は50名程度の増員とのことですが ヒューマンキャピタリストは何名体制を想定しているのでしょうか？もし100名規模を超えてくるとなると、受注案件拡大というプラスの側面だけでなく、急激な人員増での自社内の体制拡充なども求められるかと思いますがその対策も教えてください。

回答：2022年3月末時点のヒューマンキャピタリスト数は100名弱を予定しています。また社内の教育体制につきましては、専門の人員を当てて準備をしております。2021年3月期の下期から採用を強化しておりますが、引き続き教育体制を強化して早期の戦力化に努めてまいります。

2) 投資事業への進出についてです。シード期の投資と、レイターステージへの投資ということですが、金額規模についてはどのようなものを想定しているか、またシード期においてはリードインベスターのような存在になるのでしょうか？ また、22年3月期中にどこか投資予定のベンチャー企業があるのでしょうか？

回答：金額規模やリードをとるかなどについては非開示とさせていただきます。投資事業に関しては企業の既存事業のタレントエージェンシーとのシナジー効果の創出を見込んでおりますので、既存の取引先がメインターゲットとなると現時点では想定しております。

3) オープンイノベーション事業についてです 前4Qに官公庁からのスポット受注がありましたが、今期中の見通しについてはどう考えればよいのでしょうか？ 官公庁案件の受注獲得を今後増やしていきたいなど方針はありますか？

回答：オープンイノベーションについては今期も成長する見込みで考えています。現在も多数のスタートアップ政策に関するご相談はいただいております。セグメント別での業績予想は非開示とさせていただいておりますが、昨年と同程度の成長率を見込んでおります。

4) ハイブリッドキャピタルの考え方について、貴社のミッションやビジョンと整合しますが、資金の支援の部分は必ずしも貴社の強みとしてきた分野ではなく、事業パートナーであるVCとも競合すると思います。なぜやるのか、どう進めていくのかについて詳しく教えてください。

回答：投資先には資金支援だけでなく人材支援も行っておりまして、既存事業に重要な影響はないものと考えています。VCとの競合という観点では、今回の投資事業本格スタート前に、複数のスタートアップへの投資、ファンドへの投資などを行っていましたが、今までも大きな影響はありませんでした。また、なぜやるのかという点につきましては、確かに、資金支援については豊富な実績があるわけではありませんが、むしろ、必要な資金を提供することで、企業成長を促し、新たな人材ニーズを生み出すことにより、タレントエージェンシー、投資事業双方にとってプラスの影響があると考えています。

以上